

2011 Formula Nippon Rd.1
SUZUKA Circuit
14 May 2011

予選

2011年のフォーミュラ・ニッポンが、本日、鈴鹿サーキットで開幕した。
PETRONAS TEAM TOM'S のドライバー、アンドレ・ロッターと中嶋一貴にとっては明日の開幕レースを6番手、14番手からのスタートとなる複雑な状況となった。

- アンドレは、午前中の練習走行後、セットアップを変更して良い方向性を見出した。
- 一貴も予選に向けてセットアップを変更したが、思ってもいない結果に終わった。
- アンドレは順当にQ3まで進み、6列目のスタートイングリッドを得た。

Drivers	Car No.	Chassis No.	Practice	Qualifying 1	Qualifying 2	Qualifying 3
Andre Lotterer	36		P 11	P 6	P 8	P 6
Kazuki Nakajima	37		P 6	P 14	P	P

Weather	Overcast	
Temperatures	Air: 24-24C	Track: 33-31C

《ドライバー》

アンドレ・ロッター

"車は朝の走行時より良かった。予選に向けて、2011年仕様のBSタイヤにうまく合わせてくれたチームに感謝している。しかし、トップとの差は0.8秒ある。思っていた位置まで届いていないが、前進はしている。開幕戦に向け、明日の朝の走行では、レース中のペースを上げられるようがんばらなくてはならない"

中嶋 一貴

"シーズンをスタートするには明らかに良くない予選でがっかりしている。朝の走行後、予選に向けてセットアップを変更したが良くない方向に行ってしまう、うまく行かなかった。アンドレのペースは良いので、データを共有し明日の決勝に望みたい。"

《エンジニア》

東條 力 (アンドレ・ロッター担当エンジニア)

"朝の走行で2011年仕様のBSタイヤにてこずってしまったが、予選で挽回した。アンドレは良い仕事をしてくれ、Q3まで進出し決勝は6列目からのスタートとなった。しかし、トップとの差の0.8秒は決勝に向けてかなりの努力が必要であることを意味している。明朝の走行で何とかしたい。"

小枝 正樹(中嶋一貴担当エンジニア)

"今朝の練習走行は悪くなかった。予選に向けてもっと良くしようとしたが叶わず、Q2に進むことができなかった。ピットアウト後すぐ、最初の計測周でタイムを出そうとしたが、タイヤが十分に温まっていなかった。"

《チーム監督》

館 信秀

"チームにとって今日の予選はとても残念な結果だった。新しいBSタイヤに車を合わせることができなかった。特に、一貴は日本のレースに戻ってきて最初のフォーミュラカーレースで、Q1ノックアウトとなってしまい、大変申し訳なく思っている。しかし、我々のチームはとても良い状態にあるので、明日の決勝レースに期待したいと思う。"